有限会社育葉産業

農産局長賞

所 在 地:大分県豊後大野市大野町 積: 0.73ha 面

> 構成員:32名 田中 390 番地

栽培品目:水耕みつば 訂: JGAP 認

応募区分:個別経営の部

取組の紹介

【GAPに取り組んだきっかけ】

- (有)育葉産業は「システム化した経営で儲かる脳業* 」の実現に向け、システムエンジニアだった代表が 1992 年に脱サラしてみつばの水耕栽培を開始。
- 根拠ある安全な商品作りを目指して、JGAP の黎明期 であった 2006 年 12 月に水耕みつばでの JGAP 認証を 取得し、現在に至るまで GAP の取組を継続している。

※1:考えて儲かる農業という表現で、'農'を'脳'に置き換えている。

【生産工程管理の改善に向けた継続的な取組】

○ 従業員の働きやすい環境を整備するため、今までに蓄 積した栽培履歴データから生育日数などを算出し、播 種、定植、収穫予定日の栽培計画を立て、4~5連休 を含む年間スケジュールを作成している。銀行や役 所、病院通いに便利な、平日休みの導入が好評である。

【生産効率性の向上に向けた取組とその取組】

○ 培養液の分析データをベストブレンド量的管理版^{※2} の演算でみつばの吸収する追肥バランスを最適化し、 独自で設計したきめ細かな肥培管理システムにより 肥料濃度を半分にした上、無駄のない施肥により肥料 使用量を半減させるなど自動化及び省力化を実現し ながら、計算された計画的で効率的な栽培を実現。

※2:大分県農林水産研究指導センターと共同作成した追肥配合ソフト

【経営の改善に向けた取組とその効果】

- みつばの栽培パネルについて、従来よりも2~3倍長 持ちする割れにくく高耐久のポリプロピレン製(PP) をメーカーと協力して開発し、廃棄ロスを抑える。
- 市場関係者等との情報交換を積極的に行うことで綿 密な栽培計画を策定。効率的な栽培を実施し実需から の高い評価を受け、一般的な価格と比較して3割ほど 高値での取引を実現。

【波及効果】

- 県内の農業教育機関で農業や GAP 等の講義を実施し、 長年にわたり県の新規採用職員研修の受入にも協力。
- NPO 日本養液栽培研究会、一般社団法人日本施設園芸 協会等、様々な組織で講演や研修講師等で活動し多く の農業者に対して、GAPや農業技術の普及に取り組む。



育葉産業におけるみつば水耕栽培



温度、肥培管理 モニタリングシステム



開発した割れにくいPPの栽培パネル

青果佛	8					様
■■■青果株			84	×	ø	様
青果株			80	80	ė	様
· 用 青果 #	E)		A BI			様
MITCHA	200		80	×		様
医医肠青果 物			/L#8		٠	様
■■■■青果6	\$)	m	AW		۰	様
■■■二=青果@	(i)				۰	様
馬里馬青果株		-	-		1	枨

担荷予定の件 担荷予定の上上付金 さて、みつばの生育状況は病害虫の被害もなく傾頭ですが、予定以上の需要に対応するとめ量 目包も6gを調整しておいります。このき、急激に生育が止まってによう事節でありその場合は臨 極度変に対応がとます。なお、原名においては市場による生かありますが、数度、単価とも出来する。

年末の数量を確保するため冷蔵庫の保管日数を伸ばし、収穫から販売まで14日目の ケースもありますが11月27日の週で傷みが若干出ております。十分な温度管理をしてまいりますが、万一傷みの出た場合は袋裏の記号も合わせてお知らせください。 敬具

参考までに昨年同期			12月2日	~	12月8日	1)と今年の比較を下表に示します。					
		21/青華	持条持产 。	助山大河.	AUA.	TOKA I	A201	用音	東京島.	八厘米.	合計
前年	数量	180	600	350	260	270	900	300	549	200	3,609
	平均単価	617	590	601	663	621	558	558	567	615	553
今年	数量	375	710	490	300	300	1.089	310	450	200	4.224
	罕均单值	624	670	695	684	579	590	577	556	807	630

令和4年 12月9日 から 12月15日 の平均単衡は 603 令和3年 12月9日 から 12月15日 の平均単衡は 532 市場との忌憚のない情報共有



HP等



会社紹介動画

ホームページ